

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2012年4月～2013年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 海星学院高等学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒 050 - 0072

北海道室蘭市高砂町 3-7-7

E-mail : kaisei@kaisei-gakuin.ed.jp

Website : http://kaisei-gakuin.ed.jp/

児童生徒数：男子 64 名 女子 110 名 合計 174 名
児童・生徒の年齢 15 歳～18 歳

2. 担当者

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（東北支援）

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

「開発途上国の理解と支援及び東北支援」を通じた持続可能な社会の担い手の育成を本校のESD目標として、次の通り活動した。

【4月】

①海外からの東北への応援メッセージの翻訳ボランティア実施<資料 01>

【日時】 4/24

【場所】 本校

【内容】 ACCU（公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター）に寄せられたアジア各国のユネスコスクールから被災地へあてた英文の応援メッセージのうち、タイの中高生（Udomdarinee School）が書いたものを本校インターナショナルクラブの生徒が翻訳。

②世界一大きな授業実施<資料 02>

【日時】 4/25

【場所】 本校

【内容】 教育協力 NGO ネットワーク主催の同授業（市川栄作教諭）に全校生徒が参加。生徒は「震災から見えてきた教育の大切さ」をテーマに開発途上国の教育問題や南北格差と東日本大震災に対する各国の支援・援助について理解を深める。

【5月】

①「世界の笑顔のために」プログラム参加<資料 03~04>

【日時】 5/7~5/23

【場所】 本校

【内容】 4月に実施された世界一大きな授業の生徒の反響は大きく、生徒が途上国の子どもたちのためにできることを探し、自主的に JICA（独立行政法人国際協力機構）主催の同プログラムに参加。市民の協力もあり、JICA を通じて多くの物資を開発途上国に送付。各国から礼状が届き、校内に掲示。

②通訳ボランティア参加<資料 05>

【期日】 5/8

【場所】 室蘭市内

【内容】 希望者が参加。外国からの大型客船（ダイヤモンド・プリンセス号）来航の際、市内観光をする乗客・乗員に通訳・観光補助。室蘭観光協会・NPO 法人羅針盤と連携。2005年度から継続実施。

③フェアトレードショップ見学実施<資料 06>

【日時】 5/11

【場所】 室蘭市内

【内容】 市内のフェアトレードショップ「ほしのおくりもの」を本校 1 年生希望者が訪問。生徒は、実際の商品や児童労働についての VTR を鑑賞し、英語 I で学習したフェアトレードについて理解を深める。

④講演会「室蘭港から見た世界」実施<資料 07>

【日時】 5/18 【場所】 本校

【内容】 函館税関室蘭税関支署長中里潤一氏を招き、税関の重要性や室蘭港における貿易について全校生徒で学ぶ。生徒は、室蘭港のヒト・モノ・カネの流れから、地元企業や日本経済への理解を深めるとともに、室蘭と海外の密接な結びつきを再確認する。

⑤講演会「再生可能エネルギーに関する講演会」実施<資料 08>

【日時】 5/18 【場所】 本校

【内容】 東北大学大学院環境科学研究科准教授浅沼宏氏 (ASPUnivNet) を招き、1年生を対象に実施。生徒は、再生可能エネルギーの特徴やその可能性から見える日本のエネルギー事情について理解を深める。

⑥釜石のボランティア活動報告会実施<資料 09~10>

【日時】 5/21 【場所】 本校

【内容】 5/13~14、NGO カリタスジャパンが釜石で運営するボランティアセンター (VC) で視察・ボランティアに参加した市川栄作教諭が全校生徒を対象に報告会を実施。現地の方々へのインタビューなどを通じ、東北の現状について理解を深める。報告会后、生徒が VC への支援を申し出て、募金活動を行い、全校生徒が東北で活躍するボランティアの方々に応援メッセージを書き、これらを送付。

【6月】

①道南バス・海星学院東北支援プロジェクト実施<資料 10>

【日時】 6/4~ 【場所】 本校、室蘭市内

【内容】 道南バス株式会社と室蘭ユネスコ協会の協力で実現。1年生が情報の授業 (島田亮子教諭) で、「今、東北のためにできること」をテーマに、市民向けの啓発ポスターを作成。代表作品を同社のバス車内に掲示。

【7月】

①気仙沼市立気仙沼高校への支援報告実施

【日時】 7/3 【場所】 本校

【内容】 東北大学大学院環境科学研究科准教授浅沼宏氏 (ASPUnivNet)、宮城教育大学附属国際理解教育研究センター教授市瀬智紀氏 (ASPUnivNet) らの協力で、2012年3月、同校 (ユネスコスクール) の国際理解教育関連機器購入を支援。同校より礼状と写真が届き報告。

②タイ王国ユネスコスクールとのスカイプ交流<資料 11>

【日時】 7/19 【場所】 本校

【内容】 ACCU 主催「みんなひとつアジア太平洋ユネスコスクール『連帯と防災』フォーラム」(5/12 宮城教育大学) を契機に、同国チャレルムクアンサトリ高校とインターナショナルクラブが交流。生

徒は同国への興味・関心を高めるとともに、英語を母国語としない外国人との英会話の楽しさを学ぶ。

③病院内ボランティア参加

【日時】 7/23～8/17

【場所】 市立室蘭総合病院

【内容】 市立室蘭総合病院主催同ボランティアに希望者が参加。事前オリエンテーション・一次救命講習会に参加し、病院内にて移動介助・受付カード機操作・花壇の手入れなどの活動を行う。同病院にて12/20～1/11にも実施、3/24～4/9にも実施予定。

【8月】

① 留学生交流事業（中国内モンゴル自治区）協力＜資料 12～13＞

【日時】 8/1～8

【場所】 室蘭市内、本校

【内容】 市民団体「内モンゴル教育基金」主催の留学生招聘事業に、行事の運営や生徒宅へのホームステイ斡旋で協力。8/6には本校で、講演会「内モンゴルの経済発展と教育事情」（内蒙古師範大学マンドーラ教授）を開催した他、室蘭市内の他校の高校生も招き、高校生主催の SAYONARA パーティー開催。

②高校生国際協力プログラム参加＜資料 14＞

【日時】 8/2

【場所】 JICA 北海道国際センター

【内容】 JICA 北海道主催の同プログラムに希望者が参加。生徒は青年海外協力隊の体験談、「貿易ゲーム」を通じて、世界で何が起きているのかを自ら体験し、国際協力について理解を深める。

③清泉幼稚園との交流事業実施＜資料 15＞

【日時】 8/18

【場所】 清泉幼稚園

【内容】 同園（ユネスコスクール）のイベント清泉まつりの手伝いボランティア。希望者が参加。生徒は出店を担当し、園児・保護者らと交流。

④2012 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト参加＜資料 16＞

【日時】 8/20～

【場所】 本校

【内容】 ジャパンアートマイル主催の同プロジェクトに 2 年生全員が総合的な学習の一環として参加。インドネシア共和国 SMAN21 高校（スラバヤ市）と壁画（縦 1.5m×横 3.3m）を共同で制作し、展示を通して世界の調和と平和を訴える。電子掲示板やスカイプを駆使した交流で絵画のテーマやデザインを決定。生徒が壁画の半分を作成。

⑤長期留学生派遣

【期日】 8/21 より 10 ヶ月 【場所】 アメリカ合衆国ミネソタ州ミネアポリス

【内容】 第 2 学年女子生徒 1 名の参加。姉妹校 Benilde-St.Margaret's School での交流やホームステイの体験を通じて、相互の文化的な違いを学び、国際感覚を養う。

⑥留学生交流事業（タイ王国）実施＜資料 17＞

【日時】 8/23 【場所】 本校

【内容】 室蘭工業大学准教授門澤健也氏の協力を実現。7月のスカイプ交流を契機に、インターナショナルクラブ生徒の同国への関心が高まり、同大学国際センターよりタイ人留学生 3 を招く。留学生らによる講義、タイ料理指導を通じ、生徒はタイと日本語・日系企業の進出・タイの衣食住について学ぶ。これらの経験をいかして、チャレームクワンサトリ高校（ユネスコスクール）に浴衣などの物資を送付。

【9月】

①ユネスコ・コアアクション活動キャンペーン街頭募金参加＜資料 18＞

【日時】 9/8 【場所】 札幌市内

【内容】 北海道高等学校ユネスコ連絡協議会及び北海道高文連石狩支部ボランティア専門部・札幌ユネスコ協会主催の同キャンペーンに希望者が参加。石狩・空知の高校生とともに札幌駅周辺で世界寺子屋運動への協力を呼びかける。これらは同協会を通じて募金。生徒は道内に多くの仲間がいることを知り、刺激を受けた。

②アメリカ修学旅行実施＜資料 19＞

【期日】 9/19～28 【場所】 アメリカ合衆国ミネソタ州ミネアポリス

【内容】 第 2 学年が参加。姉妹校 Benilde-St.Margaret's School や大学 College of Saint Benedict & Saint John's University との交流やホームステイの体験を通じて、相互の文化的な違いを学び、国際感覚を養う。

③市民活動ミュージアム 2012 参加＜資料 20＞

【日時】 9/23 【場所】 室蘭市内

【内容】 室蘭市民活動ネットワーク及び室蘭市主催同ワークショップに希望者参加。「10年後のまちづくり」をテーマに様々な世代と、地域の良い点や10年後のあるべき姿について意見交流。これらを通じ、地域の課題についての理解を深める。

④清泉幼稚園との交流事業実施＜資料 21＞

【日時】 9/28 【場所】 清泉幼稚園

【内容】 同園（ユネスコスクール）に生徒が訪問し、絵本の読み聞かせ交流を実施。生徒は地雷問題を扱った絵本を朗読し、同園と本校で展開する世界寺子屋運動の意義を園児と共に再確認する。

⑤通訳ボランティア参加＜資料 22＞

【期日】 9/30 【場所】 室蘭市内

【内容】 全校生徒が参加。外国からの大型客船（ダイヤモンド・プリンセス号）来航の際、市内観光をする乗客・乗員に通訳・観光補助。室蘭観光協会・NPO 法人羅針盤と連携。2005 年度から継続実施。

【10月】

①釜石ボランティア生徒派遣事業<資料 23>

【日時】 10/7～11

【場所】 岩手県釜石市

【内容】 室蘭ユネスコ協会の協力のもと釜石への生徒ボランティア派遣（4泊5日）。NGO カリタスジャパンが釜石で運営するボランティアセンターに滞在。代表生徒5名は、傾聴を主とした活動を通じ、「東北の方々の心に寄り添うこと」の重要性とやりがいを実感。この前後に室蘭ユネスコ協会会長立野了子氏と室蘭市長を表敬訪問。

②白鳥大橋ハーフマラソン・ウォークボランティア参加<資料 24>

【日時】 10/8

【場所】 室蘭市内

【内容】 白鳥大橋ハーフマラソン・ウォーク実行委員会主催の室蘭市開港140年・市制施行90年記念事業に希望者が参加。一般ボランティアとともに、立哨員、給水、誘導を担当。

③植樹実施<資料 25>

【日時】 10/11

【場所】 本校

【内容】 5月に実施された講演会「再生可能エネルギーに関する講演会」に参加した1年生がCO2削減について調べ学習をすすめ、植樹を希望。来賓来校にあわせ、これ（針葉樹）を実施。

④気仙沼市立気仙沼中学校訪問報告会実施<資料 26～27>

【日時】 10/16

【場所】 本校

【内容】 昨年度より交流が続く宮城県気仙沼市立気仙沼中学校（ユネスコスクール）を訪問した宇都宮浩史教諭による全校生徒対象の報告会。気仙沼の現状について同校の教職員から受けた説明の紹介や東北沿岸部の様子などを写真で報告。生徒は、これからの絆のありようについて考えを深め、全校で同校あてにクリスマスカードを作成し、送付。また、北海道カトリック中学・高等学校連盟主催2012年度カトリック生徒全道大会（10/22～23 札幌市内）を「東日本大震災に直面して」をテーマに、講師として東北大学名誉教授岩田靖夫氏を招き、本校生徒が当番校生徒として運営。この大会を契機に、同大会参加校生徒も協力。結果、約2,000人のメッセージが同中学校に送られた。

⑤釜石ボランティア生徒派遣事業報告会<資料 28～29>

【日時】 10/18、20～21

【場所】 本校

【内容】 同事業に参加した生徒による全校生徒対象の報告会。活動を通じて交流した釜石の方々やボランティアとのエピソードやボランティアを通して感じたことを、写真を交え発表。これを機に生徒は校内外で募金活動を展開。支援物資や寄付金を、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟、公益社団法人ユネスコ・アジア文化センター、NGO カリタスジャパンを通じて、東北に送る。また、10/20～21に本校で実施された中学生向けの学校説明会でも中学生を対

象に報告会を実施した。

⑥第 46 回北海道ユネスコ大会 in 旭川 教員派遣

【日時】 10/20～21 【場所】 旭川市内

【内容】 北海道ユネスコ連絡協議会主催の同大会に市川栄作教諭を派遣。本校の実践事例を紹介した他、室蘭ユネスコ協会をはじめ、道内のユネスコ協会との意見交換で交流・連携を深める。

【11 月】

①ESD・ユネスコスクール研修会参加

【日時】 11/3 【場所】 札幌市内

【内容】 北海道教育大学釧路校・ESD 推進センター主催同研修会にて市川栄作教諭が実践発表。道内のユネスコスクールとの交流・連携を深める。

②道南バス・海星学院東北支援プロジェクト実施<資料 30～35>

【日時】 11/7～ 【場所】 室蘭市内

【内容】 道南バス株式会社と室蘭ユネスコ協会の協力。釜石ボランティア派遣生徒が、東北支援の啓発ポスターを市民向けに作成し、同社のバス車内に掲示。また、同趣旨で北海道新聞社に記事を寄稿。11/15～21 にかけて全 5 回の連載。

③オーストラリア語学研修<資料 36>

【期日】 11/10～12/9 【場所】 オーストラリア西オーストラリア州パース

【内容】 女子生徒 4 名(第 1 学年 3 名、第 2 学年 1 名)が参加。Perth Institute of Business & Technology の Edith Cower University キャンパスにある語学学校にて、語学力向上と異文化理解を目的に実施。

④平成 24 年度北海道高等学校文化連盟第 9 回全道高等学校ボランティア研究大会参加

【日時】 11/14～15 【場所】 苫小牧市内

【内容】 代表生徒らが同大会に参加。生徒は東北で活躍するボランティア、道内の高校の取り組みについて学んだ他、分科会では苫小牧ユネスコ協会会長大杉忠氏、北海道ユネスコ連絡協議会事務局長秋庭一憲氏の講演を通じ、ユネスコ活動について理解を深める。

⑤世界寺子屋運動参加<資料 37>

【日時】 11/20～ 【場所】 本校、室蘭市内

【内容】 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟主催。支援対象国カンボジアの歴史・世界遺産・現状について学び、希望者が協力を呼びかけるリーフレット作成を開始。12/6 にリーフレットが完成し、校内外で書き損じはがき・未使用はがきの回収活動を開始。また、代表 2 作品をリーフレットコンテストに応募した。さらに、室蘭ユネスコ協会にリーフレットを寄贈。同協会がこれらを室蘭市内の各教育機関に配布した他、道南バス株式会社、室蘭社会福祉協議

会、登別社会福祉協議会、本校関係団体がリーフレットの配布や掲示に協力。12/19には、本校生徒が地元のFMラジオ局「FMびゅー」に出演し、協力を呼び掛ける。運動に協力して下さった市民には礼状を送付しているが、あるご家族に礼状だけでなく、全校生徒で千羽鶴を送るなど、運動に広がりがあった。

⑥写真展「高校生が見た被災地」開催<資料 38>

【日時】 11/24～25

【場所】 室蘭市内

【内容】 室蘭市内の大型ショッピングセンター「MORUE 中島」の協力で、同写真展を開催。釜石ボランティア派遣生徒が撮影した東北の写真を、市民向けに掲示。

【12月】

①雪かきボランティア参加<資料 39>

【期日】 12/1～

【場所】 室蘭市内

【内容】 室蘭社会福祉協議会主催のボランティアに有志生徒が参加。昨年度からの継続事業。高齢者などの雪かき困難者宅7軒を担当。

②留学生交流事業（インド共和国）実施<資料 40>

【日時】 12/3

【場所】 本校、室蘭市内

【内容】 アジア大洋州地域及び北米地域との青少年交流「キズナ強化プロジェクト」（外務省・JICE 財団法人日本国際協力センター）の一環でインド人留学生23名が来校。留学生と生徒がペアになり、日本の学校生活体験を補助。生徒は交流を通じ、インドの伝統文化や食文化に理解を深めた他、震災についてディスカッションで交流。

③ユネスコスクール実践フォーラム参加<資料 41>

【日時】 12/8

【場所】 室蘭市内

【内容】 室蘭ユネスコ協会主催の同フォーラムに、本校生徒が参加し、本校のESD活動を発表・報告。釜石のボランティア活動や清泉幼稚園の園児と保護者に世界の地雷問題を扱った絵本の読み聞かせを行なう。フォーラム終了後、北海道登別明日中等教育学校（ユネスコスクール）の生徒とともに世界寺子屋運動協力を呼びかける街頭募金を実施。

④アートマイル環太平洋環境ユースサミット参加<資料 42～43>

【日時】 12/23～28

【場所】 インドネシア共和国スラバヤ市

【内容】 ジャパンアートマイル実行委員会主催。本校生徒が日本ユースとして派遣決定し、同サミットに参加。東日本大震災に関する発表と環境問題についてディスカッションを実施するとともに、2012アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクトで制作した壁画を、SMAN21高校に手渡す。インドネシアの先進的な環境教育について学び、環境面から持続可能社会の実現についての考察を深める。1/22には室蘭ユネスコ協会会長立野了子氏とともに室

蘭市長を表敬訪問し、フォーラムについて報告。

⑤私のまちのたからものコンテスト参加<資料 44>

【日時】 12/27～

【場所】 本校、室蘭市内

【内容】 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟主催同コンテスト参加のため、希望者を対象に地域学習の総括として室蘭の夜景見学を実施。室蘭観光推進連絡会議の協力により、むろらん観光ツアーガイドの伏木晃氏へのインタビューや、JX 日鉱日石エネルギー株式会社室蘭精油所の太田宏二氏による講義および同施設見学の他、室蘭開発建設部の協力で白鳥大橋陣屋除雪ステーションからの夜景撮影が実現。作品は奨励賞を受賞。生徒は、地域の歴史・人々の生活・想いについて学ぶ。

【1月】

①高校生国際協力プログラム 2012 冬参加<資料 45>

【日時】 1/9～10

【場所】 JICA 北海道国際センター

【内容】 JICA 北海道主催の同プログラムに希望者が参加。スカイプ（ウズベキスタン人）などのワークショップや講演を通じ、青年海外協力隊員の仕事を学び、実際にカンボジア王国で活動する隊員として、支援のアクションプランを作成。生徒は支援をする側が忘れてはならない視点や実際に日常生活で自分たちがどう行動につながるかなど、国際協力についての理解を深める

②日韓中高校生フォーラム参加<資料 43、46>

【日時】 1/12～13

【場所】 大阪府立大学

【内容】 文部科学省、大阪府立大学主催の同フォーラムに本校生徒が参加し、8月、11月の企画・準備・調整を経て、日本語と英語でこのフォーラムの司会を担う。持続可能な社会の実現に向けて、日韓中三カ国のユネスコスクールの高校生が2日間かけた議論を行い、高校生としてできることを考え、それを共同宣言にまとめ上げる。1/22には室蘭ユネスコ協会会長立野了子氏とともに室蘭市長を表敬訪問し、フォーラムについて報告。

③第40回北海道高等学校ユネスコ研究大会参加<資料 47>

【日時】 1/13～14

【場所】 札幌市内

【内容】 北海道高等学校ユネスコ連絡協議会主催の同大会に希望生徒が参加。「さまざまな価値観を越えてつながる心を～今こそ、一人一人のこころの中に平和の砦を～」をテーマに、桑山紀彦氏の「地球のステージ」や、北海道ユネスコ連絡協議会会長大津和子氏の講演、カンボジアの寺子屋見学レポートなどを通じて、生徒はユネスコ運動とその精神についての理解を深める。

【2月】

①世界寺子屋運動書き損じはがき贈呈式<資料 48>

【日時】 2/5

【場所】 本校

【内容】室蘭ユネスコ協会会長立野了子氏来校。書き損じはがき・未使用はが 1,895 枚、寄付金 14,575 円その他を贈呈。立野氏より感謝状。2/6 には本校生徒会長が地元 FM ラジオ局「FM びゅー」に出演し、市民に向けて協力を感謝。

②室蘭東ロータリークラブ第 2515 回例会講師派遣<資料 49>

【日時】 2/27 【場所】 室蘭市内

【内容】室蘭東ロータリー・クラブ（松永英樹会長）主催の同例会に、釜石ボランティア派遣生徒が講師として招かれ、現地での活動や感じたことを報告するとともに、ポスター制作や写真展・新聞への寄稿、各種講演など「室蘭で自分たちにできること」を探して活動していることを報告。NHK室蘭放送局制作『室蘭発「花は咲く」』に活動が取り上げられ全道放送（2/3）されたVTRを紹介。

③タイ王国ユネスコスクールとのスカイプ交流<資料 50>

【日時】 2/28 【場所】 本校

【内容】同国チャレラムクゥアンサトリ高校とインターナショナルクラブの交流。1月に同校よりニューイヤーメッセージカードが届き、スカイプ交流を実施。同校と絵画共同制作プロジェクトを進めていくことで合意。現在、同プロジェクトを進めている。

【3月】

①ソロモン諸島への手紙<資料 51>

【日時】 3/1 【場所】 本校

【内容】2月、JICA 笑顔のためにプログラムで交流したソロモン諸島で地震が発生。このニュースを聞いた生徒会役員が全校生徒に呼掛け、集合写真を含むメッセージカードを作成。JICA を通じ、ソロモン諸島に送付。

②写真「高校生が見た 3.11」展示<資料 52>

【日時】 3/6 【場所】 室蘭市内、登別市内

【内容】JR 東室蘭駅に隣接する東室蘭自由通路に、釜石ボランティア派遣生徒が撮影した東北の写真を、市民向けに掲示。また、JR 鷲別駅（登別市）の駅構内にも東北の写真を題材としたポスターを作成し掲示。

③2012 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト鑑賞会<資料 53>

【日時】 3/18 【場所】 本校

【内容】同プロジェクトの壁画が完成し、SMAN21 高校より本校に届き、鑑賞会を 2 年生全員で実施。壁画を鑑賞し、壁画のテーマである両国に伝わるそれぞれの民話・伝承の絵を比べあいながら、互いの国民が大勢説にしてきた伝統的な価値観に触れる。

